

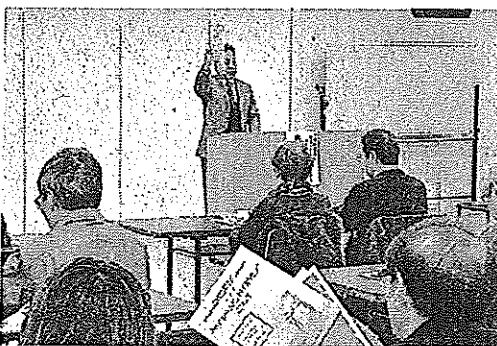
高齢者も快適に

恵庭でリフォームセミナー

石狩振興局と恵庭市は9日、恵庭市民会館で「この時代の住宅リフォーム・住みかえセミナー」を開いた。恵庭市内外の約60人が、高齢になつても自宅で快適に生活するためのリフォームや住み替えのポイントを学んだ。

講師は、北海道建築指導センター・住宅相談員で恵和建築設計の山本明恵代表と移住・住みかえ支援機構の齊藤道生副代表理事が務めた。

山本氏は、加齢により先行きの不安が出てくるので、体力・気力・経済



「アーリーフォームやアーリーハウスの活用を提案。住み替えて当たり、今までの自宅を賃貸して収入を得る、うに自宅をリフォームし、住まなくなった場合

の「アーリーハウス借上げ制度」の特長を説明した。

齊藤氏は住みやすいよ

くらしが決断すべきと話し、優先順位を付けて無理せ

とを勧めた。

室内側からの耐震補強

や一階をシェルターにするなど、費用をあまりかけない「簡単リフォーム」で災害時でも安心で快適な暮らしを得るためにリフォームの方法も紹介した。

一方、齊藤

氏はもう一つの選択肢として、住み替えとアーリーフォームの活用すべきと話し、費用をあまりかけない「簡単リフォーム」

や一階をシェルターにするなど、費用をあまりかけない「簡単リフォーム」で災害時でも安心で快適な暮らしを得るためにリフォームの方法も紹介した。

一方、齊藤氏は住みやすいよくらしが決断すべきと話し、優先順位を付けて無理せとを勧めた。

室内側からの耐震補強や一階をシェルターにするなど、費用をあまりかけない「簡単リフォーム」で災害時でも安心で快適な暮らしを得るためにリフォームの方法も紹介。その仕組みに興味を持った参加者からは、質問が相次いでいた。